

読売

教育ネットワーク

社会はまるごと学校——
すべての大人が先生です



全国中学
ビブリア
バトル
決勝大会

決勝進出の4人と川村さんらで記念撮影 (3月28日 / 2・3面へ)

巻頭特集 杉本葉月さん (岸和田市立岸城中学校2年) のイチ推しがグランドチャンプ本に

初の全国中学ビブリア 2・3

育て考える力 大学生が新聞を継続購読 東洋大 聖路加国際大 4・5

同志社大 カズレーザーさんを「1日学長」に任命 / 中学受験サポートセミナー 6

東京女子大が100周年式典 7 アマモできれいな海取り戻そう 8

お知らせ 5・6 米カリフォルニア大学バークレー校「夢実現への回り道」 9

広がる読売教育ネットワーク 参加登録団体 500を超える 10・11

2018
Vol.41

初の全国中学ビブリアオ

中学生たちがお薦めの本を紹介し合い、観戦客の投票で最も読みたくなった本を決める「全国中学ビブリアオバトル決勝大会」が3月28日、東京都千代田区の上智大学ソフィアタワーで開かれた。大阪府代表として出場した岸和田市立岸城中学校2年の杉本葉月さんが紹介した「BUTTER」(柚木麻子著、新潮社)が最多票を獲得し、グランドチャンプ本に選ばれた。(学校と学年はいずれも大会当時)

主催:活字文化推進会議/共催:上智大学/主管:読売新聞社/後援:文部科学省

杉本葉月さんのイチ推しがグランドチャンプ本に

1位になり、自分が変わった気がする

杉本さんは年間240冊読むという読書家。ビブリアオバトルのことは知らなかったが、司書教諭に「お願いだから出て」と請われ、2017年12月の大阪府大会に出場した。「優勝して、初めて東京で全国大会があることを知った」という。それだけに「こんな大きな会場で、まさか1位になれるなんて……」と戸惑いの表情を浮かべた。

新学期が始まり、全校生徒の前で表彰され、市長を表敬訪問した。地元テレビ局の取材も受けた。「自信がつき、自分が変わった気がする。自分から進んで図書委員になった」と話す。

大会後の交流会で、たくさんの出場者と連絡先を交換し、おもしろい本を紹介し合っている。「また来年も会えたらいいね、と約束したので、全国大会に戻ってきたい」。力強く語った。



37人が出場

中学生を対象としたビブリアオバトルの全国大会は初めて。福島、山梨、大阪、大分などで開かれた7府県大会の優勝者と、首都圏の中学校の代表ら37人が出場した。

予選、準決勝を勝ち進んだ4人の中学生バトラーが決勝に臨んだ。

杉本さんは「あえて使おうと思った」という関西弁を前面に出し、歯切れのいい口調で作品の読みどころをアピール。観戦客の心をとらえて、頂点に輝いた。

春休み中ということもあり、客席には親子連れの姿が目立った。時間が5分間に収まるように練習を重ねてきた、中学生の



準決勝で「カブキ」を紹介する菅原さん

準グランドチャンプ本



小林遼平さん (八王子市立由木中2年)

優秀賞



阿部心暖さん (多摩市立青陵中1年)



山口拓海さん (横浜市立西本郷中2年)

川村元気さん トークショー 紹介された本読むぜいたく

会場となった上智大学のOBで、作家・映画プロデューサーの川村元気さんがゲストとして観戦し、トークショーも開かれた。

ビブリアオバトルをナマで初めて見たという川村さんは「中学生の緊張感が伝わり、観客とのやり取りもおもしろかった」と感想を語った。中学時代に影響を受けた本として、ミヤエル・エンデの「モモ」(岩波書店)を挙げた。「時間はだれにでも平等にあるという価値観を壊された。小説『世界から猫が消えたなら』のきっかけになった」と創作秘話を明かした。

「大学生になると、自分の感覚よりも世間の感覚に引っ張られていく。自分の価値観が固まる前に小説に影響されるのは、すごく豊かな時間」と、中学時代の読書の大切さを強調。「ビブリアオバトルもそうだが、だれかから紹介された本を読むという行為はすごくぜいたく。なぜこの本を薦めてくれたのだろうかと考えると、そこにストーリーがある。幅広く本にふれてほしい」とメッセージを送った。



「一人ビブリアオやってみる」観戦客アンケート

「普段の自分であれば選ぶことはない本に興味を持つきっかけを与えてくれた中学生に感謝の一言」「本はあまり好きではないけれど、発表を聴いて読んでみようという気になった」

活字文化推進会議が観戦客にお願いしたアンケートには、称賛の声が多く寄せられた。

中学生の娘がいる50代の女性は「好きな本を堂々と語る中学生の姿が面白い。自分が中学生だった時に、こういう大会があれば出てみたかった。今日は家に帰って一人ビブリアオをやってみる」とつぶやいた。60代の女性は「受験勉強で忙しいことを理由にして、学生時代に本を読まなかったことを後悔している」と振り返った。

また、中高一貫校の教諭は「自分の学校でも生徒たちに『ビブリアオバトルをやってみようよ』と声をかけたい」、別の学校の教諭からも「現代文の授業で生徒たちと一緒に挑戦してみたい」という声があった。



決勝進出者の発表 動画で

ビブリアオバトルのウェブサイトでは、決勝進出者の発表の動画や、全出場者の紹介本を見ることができます。高校大会、大学大会の動画もアップしています。
https://katsuji.yomiuri.co.jp/

「女性とは」を考えさせられた

杉本葉月さん(岸和田市立岸城中2年)

バターをちゃんと味わったことあります。バターってナマで食べるものじゃないし、しかも最近高いじゃないですか。それやったらマーガリンの方がカロリーも、価格も安くいいなんて思ってたしやる方。それは大きな間違いです。この本を読めば分かります。

この本は、梶井真奈子、町田里佳という2人の女性の物語です。梶井は婚活サイトで知り合った男性3人をだまして、お金を取って、殺したとされて逮捕されました。彼女は太って、全然美人じゃないんだ。

あ？「じゃないですか。いきなり」自分、マーガリンあかんてって言われて。戸惑っている里佳に、梶井は私を知りたいなら、まずは本物のバターを味わいなさい」と言います。

里佳は高級なエシレバターを使って、ある料理を作ります。それがバターしよっゆっほんなんですが、おいしそに書かれているんですね。もう、おなかすくレベル。気になったんで、作ってみました。なんと、エシレバターを買っていただいてほんまにすくくて、衝撃、もう感動しました。



biblio BATTLE BUTTER 柚木麻子/新潮社

どうなものです。梶井が現代社会から外れた考えを持ちながらも、自分を貫こうとしたのはなぜか。里佳はどうしてそこまで梶井の世界に引き込まれてしまったのか。女性とは何か。女性らしさとは何か。男性が求める女性の理想像とは何なのか。考えさせる本です。読んでみてください。

長崎・五島列島にある中学校の合唱部が舞台の青春小説「くちびるに歌を」(中田永一著、小学館)を紹介した徳島県代表の鳴門教育大学付属中学校3年、豊田望実さんは、アンジェラ・アキさんのヒット曲「手紙(拝啓 十五の君へ)」の一節を歌った。2008年度のNHK全国学校音楽コンクール中学校の部・課題曲で、物語の展開に重要な役割を果たす曲。引率した教諭は「インパクトを出したいと言ったので歌を入れること



準決勝で歌を披露する豊田さん

とにした。高校でも本の魅力を感じてほしい。

読売新聞で大会を知り、興味をそられて参加した本好き中学生もいた。その一人、岐阜県本巣市立真正中学校2年の中西新菜さんは「学校でビブリアオバトルを広めたい。そのためにまず自分がチャレンジしたい」と、杉山博文校長に出場を直訴。大会では「鳥は主を選ばない」(阿部智里著、文芸春秋)を紹介した。決勝進出はならず、大会直後は「出場者のレベルが高かった。私は無鉄砲だったかもしれない」と振り返ったが、3年生になり、図書館を担当する生徒会情報委員会の委員長として、校内でのビブリアオバトル実施に向けて動き出している。

育て考える力

大学生が新聞を継続購読

大学で新聞を教育に活用する動きが広がっている。東洋大学（東京都文京区）では、学生が1年間新聞を読み続け、記者が授業をするプロジェクトを開始。医療系の聖路加国際大学（東京都中央区）でも、記者による講義の前後2週間、日々の朝刊を読ませて感想を書かせるなど、いずれもユニークな実践になっている。

東洋大

読売と朝日が協力「新聞活用プロジェクト」読む習慣作り 記者の授業や職場体験も



自分のグループで完成させた「まわしよみ新聞」を披露する学生

東洋大学は今年、読売新聞社と朝日新聞社の協力で「新聞活用プロジェクト」をスタートさせた。日々ニュースに触れることで、学生たちに情報を分析し、考える力をつけてもらうのが狙い。並行して、両新聞社の記者らを招いた授業も始まった。

プロジェクトに参加しているのは、社会学部メディアコミュニケーション学科の1年生約160人。読売新聞と朝日新聞を半年ずつ自宅で定期購読する。購読料は全額、大学の負担だ。

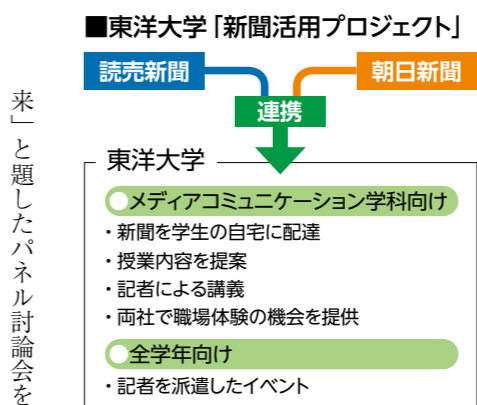
新聞のしくみ、読み方が

4月24日には大教室で、両新聞社の担当者から新聞のしくみや読み方を教わった。朝日新聞社の鹿島啓司・教育事務局長が、読売新聞社の岩本洋二・教育ネットワー

て、どんな配置で並べるとよいか、どんな共通のタイトルをつけるとういかに話し合い、「自分たちの新聞」を作り上げていった。

6月にはパネル討論会

読売と朝日が連携して大学教育を本格的に支援するのは初の試みだ。1年生が6クラスに分かれて学ぶ「基礎演習」では、両紙が教材として活用されるほか、両新聞社の記者らが派遣され、得意分野を生かした授業を行う。



来」と題したパネル討論会を開き、両新聞社の社員が2人ずつ出席して話し合う。学生たちもフロアから質問しながら参加する。

7月には、テレビでも活躍する読売新聞の橋本五郎特別編集委員による講演会が開かれる。夏休みには希望者を対象に、両新聞社での職場体験も計画中だ。学生たちにとって、実り多い1年になることが期待されている。

聖路加国際大

「イチ推しニュース」に挑戦

1年生70人 記者がコツを講義

聖路加国際大学で新聞の継続購読に取り組んだのは、総合科目「大学でなければ学べないこと」を履修する1年生ら約70人。同大学の学部は看護だけで、学生たちは医療のスペシャリストを目指して入学して

義を聞くことで、広い視野を養っている。5月17日は岩本専門委員が新聞の活用をテーマに講義を行った。

新聞は情報のデパート

岩本専門委員は「新聞は情報のデパート。デパートに行くとき、ついいろいろなものを買ってしまふように、新聞も開いて読めば、関心が広がる」と語った。学生たちは新聞を偶然開いたページから探す課題に取り組み、生き生

きとした表情で自分が選んだ記事や広告を発表した。当日の新聞を教室に配達し、教材として活用する授業が多い。しかし、同科目を担当する菊田文夫・准教授（健康教育）は「自ら探求的に考える能力を育てるためにも、学生たちに一定期間、新聞を読ませ続けたい」と強く要

望。このため、授業の前後約2週間、土日を除いて毎日朝刊が大学に届くようにし、学生たちが1部ずつ持ち帰って読むしくみを整えた。購読料は大学が負担した。

疑問や背景を調べる

授業前の7日間、学生たちは1日1本、気になった記事を切り抜き、選んだ理由や感想をメモ用紙に書き込んだ。17日には切り抜いた記事をつまみ食いしたクリアブックを持参し、授業に臨んだ。岩本専門委員は「丁寧にやりすぎると長続きしない。ダイエツトと同じ」と笑わせながら、「大事な情報は情報を吸収し、誰かに伝えること。書いてある情報を鵜呑みにせず、『ホンマかいな?』とどんどんつつこむこと」と強調した。

学生たちは助言に基づき、授業後の7日間、関心を持った記事について、疑問に思ったことや背景などを調べ、レポートにまとめて提出した。受講した小滝佳代さんは「新聞は普段あまり読んでいなかったが、インターネットとは違い、しっかりと情報が多く、それでも鵜呑みにせず、自分で調べることの大切さを学んだ」と話した。加藤愛士郎さんは「自分の手で記事を切り抜いていると、問題意識が高まる。感想を字にするので、深く考えるきっかけになった」と目を輝かせた。菊田准教授は「ネット世代の学生たちに、新聞を読む意義に気づいてほしい。考えることを習慣づけ、人間的に成長してほしい」と話している。

全国学生英語プレゼンテーションコンテスト

参加者募集

英語で企画発表（プレゼンテーション）できる人材育成を目指す「全国学生英語プレゼンテーションコンテスト」（主催・神田外語グループ、読売新聞社）の第7回大会が12月1日（土）、東京都千代田区の神田外語学院およびよみうり大手町ホールで開かれます。対象は全国の大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専門学校



の学生です。テーマは次の三つです。
○地球を守れ!環境教育の新しいプログラムを提案
○外国人観光客に日本の夜の魅力をアピール!
○アジアの特産物を欧米に売り込め!
審査員は、日本英語交流連盟会長で元駐カナダ大使の沼田貞昭氏ほかで、最優秀賞受賞者（1人または1組）には、奨学金100万円が授与され、読売新聞の英字新聞「ジャパン・ニュース」が6か月間届けられます。応募締め切りは、個人の部10月22日、グループの部10月23日です。5月30日以降、同コンテストのウェブサイトから応募してください。
<http://www.kandagaigo.ac.jp/contest/>



学生それぞれが切り抜いた記事と感想を書いたメモをはさんだクリアブック



岩本専門委員のアドバイスを受けながら「イチ推しニュース」を探す学生たち

同志社大がカズレーザを「1日学長」に任命

東京でイベント、全国区でPR

同志社大学は4月26日、人気お笑いコンビ「メイプル超合金」のカズレーザーさんを「1日学長」に任命するイベントを同大の東京オフィス（中央区京橋）で開いた。

イメージカラー

の真っ赤なローブを大学から贈られたカズレーザーさんは、出身校である同志社の校風について、「何かしなければならぬ」という強制がほとんどない」「何をやっていいんで、目標を見つけたい人に来てほしい」と述べ、自由で可能性にあふれたキャンパスの空気をPRした。

お悩み相談にも軽妙に回答

イベントでは、高校生や新入学生からの質問に答えるコーナーも設けられ、カズレーザーさんが相方の安藤なつさんととの掛け合いで「お悩み」を軽妙にさばいた。

「関東から京都の同志社に行くのを親から反対されている」という高校生の相談に



1日学長に任命されたカズレーザーさん（中央）。
左は安藤なつさん、右は藤澤義彦副学長

は、「同志社にしか合格しないという方法もある。同志社の入試である程度手応えがあれば、ほかの試験は手を抜くとか」と珍回答し、会場の笑いを呼んでいた。

5月に読売教育ネットワークに参加した同志社大は、2017年から東京でメディア懇談会を始めるなど、全国区での情報発信に力を入れている。イベントで主催者代表を務めた藤澤義彦副学長は、お笑いタレントを「学長」に迎えた狙いについて、「自由奔放なようで、言っていることに蘊蓄がある。中学生にもOBが活躍していることをわかってもらうには、年の近い方がインパクトがある」と述べた。

「とがった人間作ろう」 立命館アジア太平洋大 出口学長

中学受験サポートのセミナーで講演

読売新聞社が運営する私立中学受験情報サイト「中学受験サポートの」第12回セミナーが2月20日、読売新聞東京本社（東京・大手町）で開催され、立命館アジア太平洋大学の出口治明学長が「国際化と日本の中等教育について」と題して講演した。同サイトの会員校など50団体から85人が出席した。

「ステイブ・ジョブズを育てよう」の文字を投影したスクリーンを背景に、出口学長は「日本人が今の生活水準を維持するためには国際化は「マスト」と強調。そのうえで、国際的な共通理解を可能にする

News

第67回読売教育賞 全13部門で募集 8月受け付け

小中高などの教員や教育関係団体・個人の優れた実践を表彰する「第67回読売教育賞」は、8月1日から22日まで応募を受け付けます。自薦、他薦は問いません。創意と工夫にあふれる教育活動や指導の実践報告をお寄せ下さい。



高円宮妃久子さま（左）をお迎えて開催された第66回読売教育賞表彰式セレブション（2017年11月17日、東京都千代田区のみやうり大手町ホールで）

【募集部門】①国語教育 ②算数・数学教育 ③理科教育 ④社会科教育 ⑤生活科・総合学習 ⑥健康・体力づくり ⑦外国語・異文化理解 ⑧児童生徒指導 ⑨カリキュラム・学校づくり ⑩地域社会教育活動 ⑪NIE ⑫特別支援教育 ⑬音楽教育

【募集対象】小中高校、特別支援学校、幼稚園、保育所、認定こども園、児童館、学童保育所の長および教職員、スクールカウンセラー、PTA、社会教育団体、教育委員会、博物館などの関係者

【表彰】部門別に最優秀賞（盾と副賞50万円）、優秀賞（盾）

【募集期間】8月1日（水）～22日（水）。同日消印有効

【発表】11月上旬（予定）、読売新聞紙上で

【問い合わせ】読売教育賞事務局 ☎03・6739・6713

<https://info.yomiuri.co.jp/contest/edu/kyoiku.html>

読売新聞社が運営する私立中学受験情報サイト「中学受験サポートの」の第12回セミナーが2月20日、読売新聞東京本社（東京・大手町）で開催され、立命館アジア太平洋大学の出口治明学長が「国際化と日本の中等教育について」と題して講演した。同サイトの会員校など50団体から85人が出席した。

「ステイブ・ジョブズを育てよう」の文字を投影したスクリーンを背景に、出口学長は「日本人が今の生活水準を維持するためには国際化は「マスト」と強調。そのうえで、国際的な共通理解を可能にする

「とがった人間作ろう」と題して講演した。同サイトの会員校など50団体から85人が出席した。

「これからはアイデア勝負。とがった人間を作らなければいけない」と、ステイブ・ジョブズに象徴される人材の必要性を強調した。こうした人材を育成する「新しい時代の教育」に話は及び、「とがった人間の角を削ったら、小さい円になる。個性を生かすには『小さい丸より大きい三角』です」と、個性教育のポイントを語った。



ユニークな持論を熱く語る出口学長

講演後や懇親会でも、出席者らは出口学長と教育の話に花を咲かせた。

つよくしなやかな女性リーダーを育成

東京女子大が100周年式典



◆謝意と次の100年の展望

東京女子大学は創立100周年記念式典・懇親会を4月30日、同大キャンパス（東京都杉並区善福寺）内の講堂で開催した。

式典で茂里一紘（もりひとひろ）学長は、草創期の学監であり第2代学長を務めた安井てつ（あゐてつ）の言葉を紹介しながら、

これまでの100年間の謝意と次の100年の展望について述べた。安井は太平洋戦争中の1943年、創立25周年記念式に名誉学長として列席し「本学は創立以来、海のかなたの多くの人々から多大の恩を受けて今に至った。不幸にして我が国と我が恩人がたの国とは今戦っている。しかし日本人は古来人の恩を忘れない民族だと私は確信している。だからこそ今ここに立って海のかなたの恩人がたへの謝意を表明しないわけにはいかない」と語った。

茂里学長は、これまで堅持してきた女子高等教育、キリスト教精神、リベラルアーツ教育を、第2の100年間にふさわしい形で展開することが100年間の謝意の表明になるとしたうえで、「アフガニスタン女子教育支援に5女子大学コンソーシアム（開発途上国の女子教育支援および女子教育の発展に関わる事業を実施するための東京女子大、お茶の水女子大、津田塾大、奈良女子大、日本女子

大によるコンソーシアム協定）の一員として参画するなど、近隣アジアの国や地域で、女子教育のために、アジアにおける共生のために行動し参画し関わることが、第2の100年の大切な務め」と強調した。

◆卒業生や経済界に感謝

氏家純一理事長は大学の沿革を紹介。懇親会では100周年記念事業の中から①「新渡戸稲造国際奨学金」など奨学金制度の拡充②エンパワーメント・センターでの記念連続シンポジウムの開催③留学生との国際交流と共同生活を進める新学寮の建設④グラウンドや有形文化財である本館、チャペル周辺の景観整備——の4事業を報告。支援した卒業生、経済界への謝意を表し、教育の改善と充実を図り、変化する社会で活躍する強くしなやかな女性リーダーを育成する決意を述べた。

◆「挑戦する知性」に感銘

学生代表としてあいさつした学友会長、人間科学科心理学専攻2年中村奈央さんは、「100周年コンセプト『挑戦する知性』を知り、本学にこれ以上適した言葉はないと感銘を受けた。何かを獲得するために挑戦は避けては通れないが、一人で歩むのは簡単なことではない。少人数制の授業体制、

総合教養科目、充実した英語教育などの教育体制を通じて、本学には学びの本質を探究する環境がある」と話した。

懇親会では、高校生以上の女性を対象に起業のアイデアを公募した「ビジネス・プランニング・コンテスト」（東女BPC実行委員会主催）の授賞式も行われた。

東京女子大の100年

東京女子大は京都帝大教授、第一高等学校校長などを歴任した新渡戸稲造を初代学長として、女子には大学の門戸が開かれていなかった時代に、大学に相当するカリキュラムでキリスト教に立脚したリベラルアーツ教育を行う学校として1918年に創設。最初の新制大学として1948年に再出発した。大学院は修士課程を1971年に、博士後期課程を2005年に設置。

2018年度は現代教養学部「国際英語学科」「心理・コミュニケーション学科」「国際社会学科コミュニティ構想専攻」を新設し、5学科12専攻に再編した。

100周年コンセプト「挑戦する知性」を告知する広告



アマモできれいな海取り戻そう



▲鹿島の山木研究員(左)の指導で、アマモの苗が育った水溶性のポットごと植え付ける地元の小学生

4月
21
SAT



◀植え付ける前のアマモの苗

▼ごみひろい活動の参加者たち



NPO法人「海さくら」 神奈川・片瀬海岸で 植え付けに挑戦

神奈川県藤沢市の江の島海岸の清掃活動を行っているNPO法人「海さくら」(理事長・古澤純一郎、本部・東京都目黒区)が、新たな試みとして環境保護に役立つ海草アマモの植え付けに取り組んでいる。「かつて生息していたタツノオトシゴが戻るような、きれいな江の島の海を取り戻したい」と、今年秋に再び植え付けに挑戦する。

★100人参加して植え付け

アマモには、生活排水に含まれる窒素やリンを取り除く環境保全機能があるとされる。「海さくら」は、プロジェクト「海創造」の第一歩として3年前からアマモの植え付けの準備をスタート。横浜市・金沢地区で大規模なアマモ場の復活に成功した実績を持つNPO「金沢八景―東京湾アマモ場再生会議」の実験推進部会長・工

藤孝浩さん(55)には監修役を依頼した。地元漁業者への聞き取り調査や、植え付ける苗の育成にも時間をかけた。

最初の植え付けは江の島西浦漁港で4月21日に行われ、約100人が参加した。定例のごみ拾い活動を終えた子供も参加できるように、春の大潮の干潮時を選んだ。

植え付け作業を希望する参加者には、「海さくら」スタッフが、アマモの苗が育った水溶性のポットを手渡した。アマモの種子から苗を育てる技術の提供に協力した「鹿島」技術研究所・葉山水域環境実験場の主任研究員・山木克則さん(52)は、子供たちと一緒に海底に手を伸ばし、植え付けのサポートにあたり、アマモの苗計24ポット(約100株)が植えられた。参加した小学生の一人は「ハワイのようなきれいな海にしたいな」と期待を込めた。

★透明度上がる秋にもう一度

5月1日、「海さくら」営業部の古波蔵梨沙さん(40)と山木さんがその後の生育を見るため、植えた2区画のうち1区画の海中をのぞいた。海水温は22度。植え付け時より1度高かった。水深40センチほどでも、波が浮遊物を巻き上げ濁っていた。目視での区画全体の確認はあきらめ、手で1株は探り当てた。「海の濁りはア



▲5月1日の海中の様子。アマモを植えた西浦漁港付近は濁りがひどく、目視での観察が困難だった

5月
1
TUE

マモが衰退する原因の一つ。海水の透明度が下がり、葉の表面には濁りの原因である細粒が付着します。この状態が続いたため、十分な日光が届かず光合成が阻害され、生育できなくなった可能性があります。山木さんは話した。古波蔵さんは、「植物が持つ力は、分らない部分もあるが、海水温が下がる秋に、残る70ポットの植え付けを実施したい」と今後の計画を語った。「高水温に弱く、生長に多くの日光も必要とするのがアマモです。その立場になって考えることが必要。水温が低くなる時期の植え付けは人間にとっては大変でも、アマモの生長にとっては好都合。透明度が高く好天も多い冬場に、再度挑戦する価値はある」。工藤さんはエールを送った。



カリフォルニア大学バークレー校

1868年、創立された米国西海岸の名門州立大学。卒業生には、米アップルの共同創業者スティーブ・ウォズニアク、ソフトバンク創業者の孫正義氏のほか、元国連難民高等弁務官の緒方貞子氏など。

海外で学ぶ・リレーエッセー ④
米カリフォルニア大学バークレー校
夢実現への回り道

新潟県立燕中等教育学校卒、カリフォルニア大学バークレー校(米国)3年(執筆時)

幸田 優衣さん



2017年8月、家族内で初めて大学教育を受ける者としてカリフォルニア大学バークレー校(以下UCB)の新入生歓迎式に出席し、大学3年生の年を迎えた。私はディアブロバレー・カレッジ(以下DVC)というコミュニティ・カレッジから社会学専攻学生としてUCBに編入した。

留学を目指した理由をあげればキリがないが、一番の理由は、UCBで社会学を学びたかったからだ。社会学で世界トップの大学であると同時に、言論の自由の誕生の地でもある。学校だけでなく、バークレーという街自体も社会的に非常に先進的だ。しかし、留学するには学力面

と経済面で問題があった。UCBに入れるほどの成績がなかった上に、留学の費用を賄えるほどの経済力が私の家庭にはなかったのだ。

留学を諦めかけた時、コミュニティ・カレッジから4年制大学に編入できることを、留学幹旋業者を通じて知った。問題を抱えていた私にとって、コミュニティ・カレッジからの編入というのは最適な進路だった。コミュニティ・カレッジは、公立の2年制の大学で、職業教育に力を入れた日本の専門学校のような教育や、4年制大学に編入できるように大学1、2年レベル相当の教育を手頃な学費で提供している。また、出願条件も4年制大学より簡単な場合が多い。

高校時代の成績や英語能力を証明するテストの点数は4年制大学が求めるものほど高くない場合がほとんどで、エッセーもそれほど難しくなく、高3の秋に

海外進学を決意し、それまで米大学受験に向けての準備を一切してこなかったのに加え低所得家庭で育った私には、まずコミュニティ・カレッジへの進学を目指すことが、UCBで社会学を学ぶという夢を叶えるための一つの選択だったのだ。

UCBに編入を果たしてから2か月がたった。UCBが持つ多様性と、学生の抗議行動が頻繁に起きる社会的意識の高さが好きだ。しかし、この多様性に関しては、DVCの方が勝っていると思う。コミュニティ・カレッジの独特なシステムのおかげで、人種的、社会経済的、そして年齢的にもより千差万別なのだ。子持ちの学生、正社員として働きながら学校に通う学生、またホームレスの学生もいた。ランキングではUCBの社会学が世界で一番だ。しかし、個人的には、コミュニティ・カレッジでの多様な背景を持った学生との議論の方が社会学的学びとして貴重だったと思う。私は新潟県の小さな町の居酒



カリフォルニア大学バークレー校正門前で学友と幸田さん(右) = 本人提供

海外留学を目指す高校生に進学支援を行っているNPO法人「留学フェロシップ」のメンバーが、海外のキャンパスライフをリレー連載します。留学フェロシップの詳細はウェブサイトへ。 <http://ryu-fellow.org>

英語の原文は <http://the-japan-news.com/news/article/0004042850> でお読みいただけます。

屋の娘として生まれ育った。私の生まれ育った環境は留学するにあたり不利だった。低所得家庭出身、留学経験なし。そして、私の住む地方の小さな町には留学に関する情報や機会が非常に乏しい。留学への準備も私より後に始めた人に出会ったことがない。また、進学先に提出する英語力証明として受けるTOEFLも高い受験料を懸念し

て1度しか受験できなかった。こんな状況下でも強く望めば夢に近づくことは大いに可能だ。私が編入を、夢を叶える手段として使ったように、自分に合った目標や夢への近づき方が人それぞれあるというのを私のような環境で苦しんでいる人たちに伝えたい。(会報編集部抄訳 The Japan News 2017年11月30日)

■ ビジネス、研究に生かせるプログラム



「新聞のちから」

「書く」「読む」「会話する」の三つの力を高め... 読売新聞社は2002年、出版界に呼びかけて活字文化推進会議を設立...

■ 偏差値で選んでいいの？

「大学の實力」調査

大学教育が大きく変わっている。大講義室で一方的に教え込むような講義は鳴りを潜め、議論中心の授業も増えている...



■ 講義、ワークでニュースへの関心引き出す

出前授業



読売新聞では小中高校に記者・社員が出向いて実施する「出前授業」を展開している。生徒たちに新聞づくりに挑戦してもらったり...

2017年10月からは「新聞@スクール」として、更に授業内容を充実させるとともに、積極的に紙面でも紹介している。

■ 仕事のやりがい知る機会に

企業・大学による教育プログラム

「社会はまるごと学校——すべての大人が先生です」という読売教育ネットワークの目標を最もよく体現するのが「企業による出前授業」...



■ 設問・解答欄付きの教材、先生の強い味方

読売ワークシート通信



新聞を使った学習を支援するため、読売新聞が学校などに無料で配信している。読売新聞や英字紙The Japan Newsなどの旬の話題やニュースに、設問と解答欄をつけ、A4判1枚のシートに編集。

小学校版と中学・高校版の各5枚セットを、毎週約1万の学校や先生向けに送っている。サービス開始は2009年4月。新聞と子どもたちをどう結びつけるか、苦労している先生方の助けになるよう企画した。

発表者がお薦めの本の魅力を語り、聴衆が最も読みたくなった本を決めるイベント。考案者は立命館大学情報理工学部の谷口忠大教授で、「知的書評合戦」とも呼ばれる。発表者はお気に入りの本を持ち寄り、順番に5分間ずつ、レジュメなどを使用して本の魅力を語る。

ビブリオバトル お気に入りの本、5分で発表

高校生大会、16年度からは中学生大会を主催している。昨年12月に開かれた8回目の大学生大会は、全国の地区予選に計127校1160人が参加した。また、中学・高校の国語の教科書にビブリオバトルが登場したこともあり、教育現場でも取り入れられる学校が増えている。

広がる読売教育ネットワーク



読解力、記述力養う

教材は月1回の郵送。家庭学習用の「トレーニングシート」と、提出用の「作文添削シート」で構成され、どちらも新聞記事を基にしている。新聞記事に対する感想や意見を書き出すことは、思考力や判断力、表現力の育成につながる。



参加登録団体500を超える

読売教育ネットワークに参加登録している企業や学校などが5月に500団体を超えた。設立4年目を迎え、教育に関連するイベントの開催や教材開発、情報発信など、ネットワークの活動範囲は当初より大きく広がっている。今後より幅広い参加を呼びかけていく。6月1日現在の登録数は、小・中・高校が278、教育委員会が6、企業・団体が161、大学が61で計506。



市川高(千葉県市川市)が慶大理工学部の研究グループと連携して行った小学生向けロボット活用授業。生徒たちは知能ロボットをアシスタントにした算数クイズや理科実験などを企画、プログラミングにも挑戦した



「全国高等学校ビブリオバトル2017決勝大会」で記念写真におさまる決勝進出の7人



医師を目指す高校生が医療の最前線で学ぶ「早期医療体験プログラム」。2015年から順天堂医院で、2017年には新たに大阪大病院でも実施された(写真は、大阪大病院手術室で心臓血管外科の医師から説明を受ける生徒たち)

新聞記事を使った教材を毎週配信!



自然と新聞記事に親しみ、子どもたちの読解力や表現力がアップ!

- ニュースから社説・コラムまで、最新の読売新聞や英字紙ジャパン・ニュースの記事に、問題と解答記入欄を付けたワークシートです。
- 読売中高生新聞、読売KODOMO新聞の親しみやすい記事も使います。
- そのままコピーして、授業や朝学習の課題に使えます。
- 小学校低学年から中学・高校生まで、対象学年・教科の異なるシートを5枚、週1回メールなどで配信します。
- 学年・教科・レベルに応じシートを選んでご利用いただけます。
- 配信には「小学校版」と「中学・高校版」があります。どちらか選んでお申し込みください。



WEBサイトでバックナンバーの検索、ダウンロードもできます

読売 ワークシート通信 2018年 10月 21日 (水) 体育「運動能力『二極化』」

年 組 () 名前 _____

読売 ワークシート通信 2018年 11月 4日 (水) 社会「小さな警察犬 活躍」

年 組 () 名前 _____



全国で16頭囃誌

大型犬不足＝嗅覚負けず

警察犬として、トイプードルなどの小型犬が増えてきています。

【1】警察から委託を受けて、一般家庭などで飼育されている警察犬を何と申しますか。また、全国に何頭いますか。

警察犬 _____ 頭

全国で _____ 頭

【2】小型犬の特色を生かした仕事にはどんなものがありますか。3つめき出しましょう。

★ _____

★ _____

★ _____

小さな警察犬 活躍

「嗅覚」が鋭い小型犬は、警察犬として活躍している。トイプードルやパピヨンなど、愛嬌あふれる犬種が、警察犬として活躍している。嗅覚が鋭い小型犬は、警察犬として活躍している。嗅覚が鋭い小型犬は、警察犬として活躍している。

お申し込みはこちらから

<http://kyoiku.yomiuri.co.jp/torikumi/worksheet/>

読売新聞 ワークシート通信

「読売ワークシート通信」は、教室で新聞を活用いただくための学校教職員向け記事教材配信サービスです

無料

※ワークシート通信は、2014年に創設した「読売教育ネットワーク」の一環です。ネットワークの参加登録(無料)手続きの中で申し込みができます。 ※読売教育ネットワークでは、教育に関する情報の提供や各種サービスの案内をいたします。

